

# IPパケットの伝送方式及び効率

資料2-4

階層	概要	方式	備考
		Tsb高度化	
IPヘッダ圧縮	放送伝送路上において用いないIPヘッダ情報を圧縮する方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度衛星デジタル放送にて用いる方式</li> <li>…すべてのヘッダ情報を持つIPパケットを間欠的に伝送し、それ以外のパケットを部分ヘッダとする実装の平易な方式</li> </ul>	
	圧縮後のヘッダサイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>3. 3byte (ペイロード512byte時)</li> <li>3. 3byte (ペイロード540byte時)</li> <li>3. 6byte (ペイロード1092byte時)</li> </ul>	48 byteのIPv6/UDPヘッダを圧縮後のヘッダサイズ
アドレスマッピング	IPアドレスと物理チャンネルの間のマッピング	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドレスマップテーブル (AMT)</li> <li>高度衛星デジタル放送にて用いる方式</li> </ul>	
カプセル化	MPEG-2 TSへの多重に必要なIPパケットのカプセル化方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>ULE</li> <li>IPパケットに、ULEヘッダおよびCRCフィールドを付加し、プライベートストリームとするカプセル化方式</li> </ul>	
オーバーヘッド		<ul style="list-style-type: none"> <li>10. 2% (ペイロード512byte時)</li> <li>4. 4% (ペイロード540byte時)</li> <li>3. 3% (ペイロード1092byte時)</li> </ul>	※イーサネットでのオーバーヘッド 14. 5% (512byte時) 13. 7% (540byte時) 6. 8% (1092byte時)